

# 特集 当用期直前の除雪機

秋商戦がほぼ終了し除雪機商戦本番。といってもすでに終盤戦だ。当初遅れ気味だったメーカーから販売店へのデリバリーが本格化し、販売店から最終ユーザーへの納品が進んでいる。昨シーズンで店頭在庫がほぼ払底しており、メーカー側の早目の商戦の仕掛けに販売店も乗り、造る側と売る側の呼吸がピッタリ合っているのがこの季節の特徴だ。降雪地帯で行われている農機販売店の展示会では展示される台数がこれまでよりも極端に少なく、需給がタイトであることが伺われている。

## 「対面販売」で安全指導を

## 圧倒的な売れ行き

降雪地帯の販売店に今 登場した。これは農家に シーズンの除雪機商戦に 限らず一般家庭にも積極 的にPRして販路の拡大 について聞く。「在庫が 1台もない」「売れすぎ を図るとともに、除雪機 て来年が心配」「中古倉 を通じて自社の農村地帯 外での認知度の向上と した」「降雪量に左右され るので、うちにとっては 期待しているようだ。 ヒットというより大きな 期待しているようだ。 犠牲フライの位置づけ。 ねることで、除雪機とい てもきちんと点が入る。 うシーズンの強い商品 である。秋商戦に続いてホッ を徐々に通年商品へと変 えていく可能性があり、 評価されるべき企画だ。 が魅力で手応えがいい。 評価されるべき企画だ。 大きな注目を集める。 もつと注目を集める。 のはネット販売。業界関 係者によるとネットでの 発化している。大きな理 由が2つある。1つは、 寒中苛酷な除雪作業がト ラクタに乗ったまま楽に できること。もう1つは フロントローダを除雪作 業だけでなく、運搬や上 げ下げに関わる多様な作 業に、1年を通して使用 できることだ。福井県丹 生郡越前町の農事組合法 人「陶部グリーンファーム」(西森英治代表理事) にも除雪作業をはじめ様 々な用途に「グレイタス ローダ」を使い、「力強 さが魅力。福井の重い雪 質にもびったり」と喜ば れている。

ユーザーポ  
陶部グリーンファーム  
(福井県越前町)

冬場の降雪シーズンを 控え、除雪機の早期販売 が進む中、三陽機器(株) 岡山県浅口市里庄町新 庄(Shinshu)のフロント

冬場の降雪シーズンを 控え、除雪機の早期販売 が進む中、三陽機器(株) 岡山県浅口市里庄町新 庄(Shinshu)のフロント



西森組合長(中央)と山本常務理事(右)、 左は福井近畿クボタ・島田営業所長。自 慢のグレイタスローダの前で



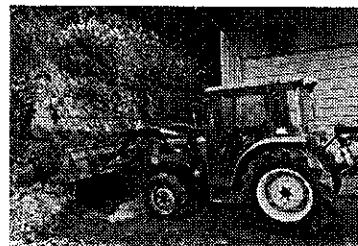
井営業所担当部長であり 武生営業所長でもある島 田敏文所長にご案内いた だき、福井県丹生郡越前 町大谷にある農事組合法

道々、島田所長に話を 聞く。同営業所では毎 年20〜30台の除雪機を販 向することを趣旨に、集落 への入口に場を設け、チラ シや訪問で人を集めてミ ニ講演会を行ってきた。

三陽機器のグレイタスローダ 年中使える優れモノ

案内してもらった越前 町の農事組合法人「陶部 グリーンファーム」は平 成14年6月に設立。経営 規模は43軒で、水田33軒、 麦・大豆7軒、ソバ1軒、 5畝、野菜・花0.3畝を 栽培している。

西森組合長は「43軒を 経営している。除雪に 限らず、運搬、持ち上げ、 運び入れを必要とする作 業がしゅちゅうある。 単にこれらができるとい うだけでなく、グレイタ スローダはこれを兼ね、 効果的にできる点が優れ ている。整地に、また軽 土末に、ハウス作業にと 十分、多用途に利用させ てもらってます」と語り、 白い歯を見せた。十二分 に元はとって、お釣りが 来ています、という笑顔 だ。



の移動、これにはよく使 う。「陶部」というよう に、このあたりは陶磁器 に使う粘土質の土が多く て重い。これを動かすの にもグレイタスローダは ぴったり」「そのほか堆 肥の運搬や移動、粉砕や 刃をすくって運んだり もする。また、トラクタ に付けたインフラメント が作業中、田んぼの中で 故障したりすることがた まにある。その時、トラ クタからインフラメント し、グレイタスローダで 持ち上げて農道まで移動 させる。田んぼの中には フォークリフトが入れな いのでこれは便利」と笑 う。

これは数年前から全社(旧 キャンペーンを振り返り、「三陽サービスの方々の協力をいただいたこと除雪キャンペーン」の効果が出てきたためだ。同キャンペーンは、毎年11月上旬から12月下旬にかけて、各営業所単位で行うローダ推進キャンペーンで、武生営業所では「自らお客様の近くに出向くことを趣旨に、集落への入口に場を設け、チラシや訪問で人を集めてミニ講演会を行ってきた」と語る。